

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

4年 防災学習

4年生は総合的な学習の時間に、岩手山の噴火や豪雨等による土砂災害と防災について学習しています。6月11日に藤沢昭子様をはじめとする古文書解読研究所の方々に来校いただき、1686年（貞享3年）に発生した噴火について、大きな紙芝居で教えていただきました。この噴火は東岩手山山腹で噴火し、火砕流が発生し、それに伴う融雪型火山泥流が砂込川沿いに流下し、一本木地区に大きな被害をもたらす災害となりました。子ども達は当時の様子を想像しながら真剣に紙芝居に見入っていました。



9月5日にはイーハトーブ火山局（岩手山火山防災情報ステーション）に見学に行き、日本にはいくつもの火山があり過去に噴火している山があること、もし岩手山が噴火したときに、どこでどのような災害が起きる可能性があるのか、そして火山だけではなく豪雨等により起こる岩屑なだれや土石流の恐ろしさについても学習しました。さらに、土石流から地域を守るために国土交通省が砂防堰堤をつくっていることも教えていただきました。

松尾八幡平ビジターセンターでは、岩手山の恵みについても知ることができました。美しい景色や山の幸だけではなく、活動が続いている火山だからこそ温泉や地熱発電等でも恩恵を受けていることを教えていただきました。

最後に1732年の噴火で流出した焼走り熔岩流を見学しました。一面に広がる熔岩を見て火山噴火の規模の大きさを実感することができました。

4年生はこれから紙芝居や火山局の見学等で学んできたことを考察しながらまとめ、自分達の学びをプレゼンする学習を進めていきます。噴火警戒レベル2が継続し入山が規制されている岩手山。その裾野で生活をしている者として、災害に対して常に備える意識をしっかりとつことができた4年生でした。



3年 りんご学習

9月12日に3年生が盛岡農業高等学校でりんご栽培の学習をしました。今回は7月18日に袋がけしたりんごの袋を外し、自分でデザインしたシールをりんごに貼る作業をしました。

2回の交流学习を経ているのですが、活動の始めはおとなしかったそうです。ですが時間が経つにつれ農業高校の生徒さんとおしゃべりをしながら楽しく作業をしました。

袋を外したりんごは日光を浴びるごとにどんどん赤くな

前回の袋掛け作業の様子。



り、シールの部分がくっつきりと浮かび上がってくるそうです。滝沢の特産であるりんごの栽培を学びながら、たった一つのマイりんごをととても楽しみにしている子ども達です。



作業をする頃には、いつもの姿に戻り元気に活動する子ども達。

袋を外し、シールを貼り終えたりんご。色づくのが楽しみ。



体育館改修工事順調に進んでいます

5月から行われている体育館の改修工事ですが、フロアの床が完成し9月17日から学習での使用が再開されました。

猛暑の中でも工事関係者の方々に丁寧に作業していただき、フロア部分が見違えるほど美くなりました。床はクッション性に富む素材で、運動時の足への負担軽減やけが防止に効果があるように感じました。

17日朝全校集会を開催し、新しい体育館の床の感触を味わうとともに、このように改修して下さったことに感謝しながら、これから大切に使用していくことを確認しました。



体育館入り口にはスロープができます。車いすでも利用できます。

既存の屋根の上に新たな屋根をかけました。雨音も気になりません。



通学路の草刈り作業ありがとうございました

9月7日に一本木地域まちづくり推進委員会が主催する通学路の草刈り作業が行われました。休日にも関わらず参加して下さった保護者の皆様大変ありがとうございました。

旧国道小学校入口から北部コミュニティセンターまでの道路は、主に中学校の生徒さんが自転車通学に利用している道路です。今回はそこを重点的に作業しました。

歩道に迫るように伸びていた雑草があっという間に刈り取られ通行しやすくなりました。また、かぶさるように伸びていた木の枝も伐採していただきとても明るく見通しがよくなりました。

当日の受付等お世話をしてくださったPTA環境整備部の皆様大変ありがとうございました。



小学校の子ども参加も。親子での作業ありがとうございました。

たくさんの方に作業していただきあっという間にきれいになりました。

